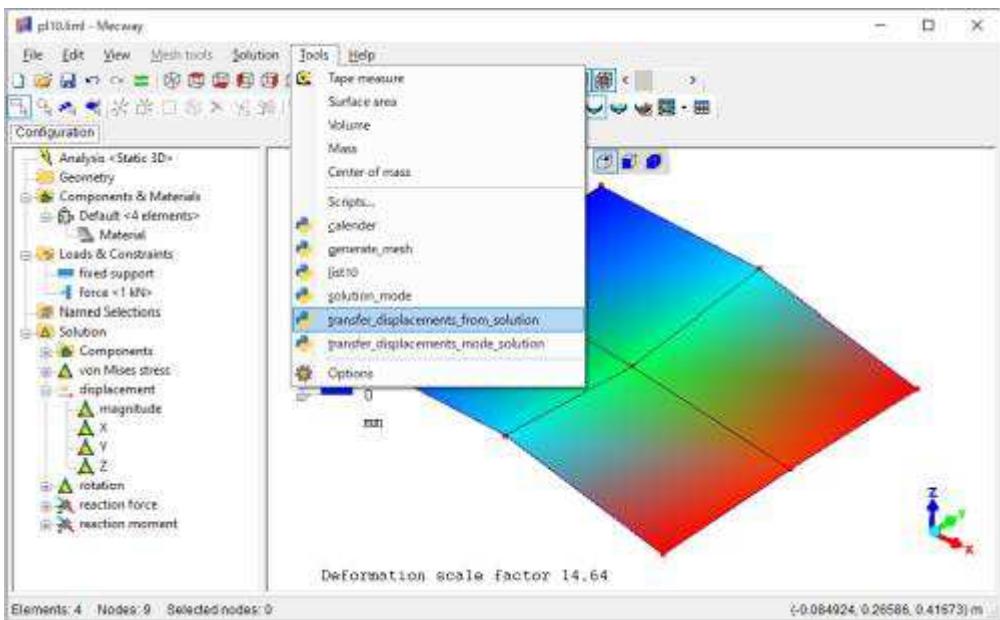


Python スクリプト・インターフェリタ for Mecway FEA



Mecway Finite Element Analysis
Version 23.0

Python スクリプト・インターフリタ

ソフトウェアに組み込まれた Mecway スクリプト・インターフェイスは、Python (IronPython2.7) ライブラリが使用されます。この解説書では、Mecway スクリプトの API (アプリケーション・プログラミング・インターフェイス) のリファレンス及び使用例を示します。

File

mw.file_name()

Returns str 開いている liml の絶対パスとファイル名

mw.import_file(path)

既に開いていることへその内容を合併して、ファイルを輸入します。解決データおよびテーブルが除外されます。Mecway が輸入することができるスクリプト(。py 拡張)以外のファイル・タイプがすべて支援されます。

path str

mw.open(path)

ファイルを開きます。Mecway が開くことができるスクリプト(。py 拡張)以外のファイル・タイプがすべて支援されます。

path str

mw.save()

現在、開いているファイルにモデルを保存します。

mw.save_as(path)

指定ファイルのモデルを保存します。

path str

Edit

mw.selected_elements()

Returns List[int] 現在選択されている要素の要素番号をリストします。

mw.selected_faces()

Returns List[FaceId] 現在選択されている Face Id をリストします。

mw.selected_nodes()

Returns List[int] 現在選択されているノードのノード番号をリストします。

solution.selected_elements()

Returns List[int] 現在選択されている要素の要素番号です。

solution.selected_faces()

Returns List[FaceId] 現在選択されている Face ID です。

solution.selected_nodes()

Returns List[int] 現在選択されているノードのノード番号です。

View

mw.display()

ディスプレイをリフレッシュします。

mw.set_active_configuration(name)

アクティブ・コンフィグレーション (active_configuration) を変更します。

name str

mw.set_model_active()

ディスプレイの更新後、現在のモデルを表示します。

Mesh tools

mw.all_elements()

Returns List[int] メッシュのすべての要素番号です。

mw.all_nodes()

Returns List[int] メッシュ中のすべての要素番号です。

mw.automesh_2d(element_ids, max_element_size=0, grading=0.3, refinements=None)

element_ids	list	
max_element_size	float	0 は最大制限なし
grading	float	サイズ累進 0.1(徐々)から 1.0(積極的)
refinements	List[tuple[int, float]] or None	ノード精製 リスト中の各精製は、精製要因が後続する境界ノード番号の 2 タプルです。

mw.automesh_3d(element_ids, volume_mesh=True, max_element_size=0, min_element_size=0, refinements=None)

element_ids	list	
volume_mesh	bool	
max_element_size	float	0 は最大制限なし
min_element_size	float	
refinements	List[tuple[int, float]] or None	ポイント精製 リスト中の各精製は、精製要因が後続する境界ノード番号の 3 タプルです。

mw.delete_elements(element_ids)

指定要素を削除します。この方法は要素を再番号付します。

element_ids	list	
-------------	------	--

mw.delete_nodes(node_ids)

指定ノードとその関連要素を削除します。この方法はノードの再番号付し、要素が削除される場合は要素を再番号付します。

node_ids	list	
----------	------	--

mw.element_shape(element_id)

element_id	int	
------------	-----	--

Returns	str	シェーブ : "line2", "line3", "tri3", "tri6", "quad4", "quad8", "tet4", "tet10", "pyr5", "pyr13", "wedge6", "wedge15", "hex8", "hex20"
---------	-----	--

mw.face_nodes(face_id)

face_id	FaceId	
---------	--------	--

Returns	List[int]	フェイスのノード番号
---------	-----------	------------

mw.new_element(shape, node_ids, component=None)

新しい要素を作成します。

shape str それらは、 "line2", "line3", "tri3", "tri6", "quad4", "quad8", "tet4", "tet10", "pyr5", "pyr13", "wedge6", "wedge15", "hex8", "hex20" のいずれかです。

node_ids list

component str

Returns int 新しく作成された要素の要素番号を返します。

mw.new_node(position)

新しい節点を作成します。

position Vector

Returns int 新しく作成されたノードのノード番号を返します。

mw.node(node_id)

node_id int

Returns Vector ノードの位置を返します。

mw.nodes(element_id)

element_id int

Returns List[int] 指定要素番号のノード番号をリストします。

mw.refine_custom(element_ids, r, s, t)

element_ids list

r int 各要素の R 成分の番号を返します。

s int 各要素の S 成分の番号を返します。

t int 各要素の T 成分の番号を返します。

mw.refine_x2(node_ids=None, face_ids=None, element_ids=None)

node_ids list ノード番号を返します。

face_ids list フェイス番号を返します。

element_ids list 要素番号を返します。

mw.refine_x3(node_ids)

node_ids list ノード番号を返します。

mw.set_node_x(node_id, value)

ノードの X 座標を設定します。

node_id int

value float

mw.set_node_y(node_id, value)

ノードの Y 座標を設定します。

node_id int

value float

mw.set_node_z(node_id, value)

ノードの Z 座標を設定します。

node_id int

value float

mw.smooth(element_ids)

element_ids list

mw.unrefine_x2(element_ids)

element_ids list

solution.all_elements()

Returns List[int] メッシュのすべての要素番号を返します。

solution.all_nodes()

Returns List[int] メッシュのすべてのノード番号を返します。

solution.element_shape(element_id)

新しい要素を作成します。

element_id int

Returns str それらは、 "line2", "line3", "tri3", "tri6", "quad4", "quad8", "tet4", "tet10", "pyr5", "pyr13", "wedge6", "wedge15", "hex8", "hex20" のいずれかです。

solution.face_nodes(face_id)

face_id FacId

Returns List[int] face の[int]ノード番号をリストします。

solution.node(node_id)

node_id int

Returns Vector ノード位置を返します。

solution.nodes(element_id)

element_id int

Returns List[int] 要素ノード ID の要素ノード番号です。

Solution

mw.set_solution_active()

ディスプレイの更新後、現在の解析モデルが表示されるようにします。

mw.solve()

アクティブ・コンフィグレーション (active_configuration) を解析します。ソルバーは同期して実行されますが、解析が終了するまで反応することなく、また進捗情報も示されません。

solution.buckling_factor(mode)

mode int

Returns float 指定モード番号のバックリング係数を返します。

solution.element_node_value(variable, element_id, element_node_id, time_step=None, mode=None)

variable str 名前は、.liml ファイル中の<elementnodevariable>で使用したのと同じです。

element_id int

element_node_id int

time_step int or None 時間ステップが存在する場合の時間ステップ番号です。

mode int or None モードが存在する場合のモード番号です。

Returns float or None 指定要素の要素ノードの解析変数値を返します。解析変数値がない場合は、None を返します。

solution.frequency(mode)

mode int

Returns float 指定モード番号の周波数を返します。

solution.interpolate(variable, point, time_step=None, mode=None)

variable str *.lim の<nodevaliable>要素で使用された名前などの変数名

point Vector 非メッシュ・ポイント

time_step int or None 解析データ等の time_step

mode int or None 解析データ等のモード数

Returns float or None 解析値または、メッシュ・ポイント

solution.modes()

Returns List[int] 解析結果のモード番号を返します。

solution.node_value(variable, node_id, time_step=None, mode=None)

variable	str	variable は変数の名前です。名前は、.liml ファイル中の<nodevariable>で要素に使用したのと同一です。
node_id	int	
time_step	int or None	解析結果に時間ステップが存在する場合、時間ステップ数であり、存在しなければ、None です。
Mode	int or None	解析結果にモードが存在する場合、モード番号であり、存在しなければ、None です。
Returns	float or None	指定ノードの解析結果変数値であり、それが変数値を持たない場合は、None です。

solution.set_variable(variable, values, time_step=None, mode=None)

ノード値の解析変数を返します。同じ名前の変数が既に存在する場合、上書きされるか、または生成され、任意の定式も、定式変数の値を変更することができないように新しい値として、再定義されます。

variable	str	変数の名前。無効の場合は処理の前に削除されます。名前は、.liml ファイル中の<nodevariable>要素で使用したのと同じ物です。
values	list	各ノードの変数値。リストの長さは、解析のノード番号と等しいに違ひありません。インデックス 0 の値はノード 1 などに相当します。それは、値のないノードを含むことができません。
time_step	int or None	時間が存在する場合、時間ステップ数です。またはそうでないかもしれません。
mode	int or None	解析またはモードが他の方法でないモード番号
Returns	str	解析変数の実際の名前

solution.surface_integral(variable, face_id, time_step=None, mode=None, vector=False)

指定範囲の要素 Face の総面積を返します。

Variable	str	variable は変数の名前です。名前は、.liml ファイル中の<nodevariable>で要素に使用したのと同一です。
face_id	FaceId	

time_step	int or None	解析結果に時間ステップが存在する場合、時間ステップ数であり、存在しなければ、None です。
mode	int or None	解析結果にモードが存在する場合、モード番号であり、存在しなければ、None です。
vector	bool	スカラ・フィールドも統合を回避します。ベクトル・フィールドの正規コンポーネントを統合する場合は真です。ベクトル・フィールドは、3 つのコンポーネントが使用されますが、「変数」値は大きさ変数の名前でなければなりません。
Returns	float	

solution.time(time_step)

time_step	int	
Returns	float	指定時間ステップ数です。

solution.time_steps()

Returns	List[int]	解析結果に存在するステップ数です。
---------	-----------	-------------------

solution.volume_integral(variable, element_Id, time_step=None, mode=None)

指定範囲の要素の総体積を返します。

Variable	str	variable は変数の名前です。名前は、.liml ファイル中の<nodevariable>で要素に使用したのと同一です。
element_id	int	
time_step	int or None	解析結果に時間ステップが存在する場合、時間ステップ数であり、存在しなければ、None です。
Mode	int or None	解析結果にモードが存在する場合、モード番号であり、存在しなけば、None です。
Returns	float	

Tools

mw.centroid(element_id)

element_id int

Returns Vector 指定要素の中心位置です。

mw.mass(element_id)

element_id int

Returns float 指定要素の質量 (Mass) を返します。

mw.surface_area(face_id)

face_id FaceId

Returns float 指定要素 Face の面積を返します。

mw.volume(element_id)

element_id int

Returns float 指定要素の体積を返します。

solution.centroid(element_id)

element_id int

Returns Vector 指定要素の中心位置を返します。

solution.mass(element_id)

element_id int

Returns float 指定要素の質量を返します。

solution.surface_area(face_id)

face_id FaceId

Returns float 指定要素 Face の面積です。

solution.volume(element_id)

element_id int

Returns float 指定要素の体積です。

Help

mw.version()

Returns int Mecway のバージョン番号を返します。

Geometry

mw.generate_mesh()

STEP ファイルのすべてのメッシュを生成します。

Components & Materials

mw.component_elements(component)

component str コンポーネント名

Returns List[int] コンポーネントに含まれる要素番号

mw.components()

Returns List[str] コンポーネント名

mw.delete_component(name)

コンポーネントを削除します。

Name str コンポーネント名

mw.delete_material(material)

材料特性の削除

material str 材料特性名

mw.element_component(element_id)

element_id int

Returns str 要素に含まれるコンポーネント名

mw.material(component)

component str コンポーネント名

Returns str or None 指定のコンポーネントの材料特性名

mw.material_property(material, property)

material str 材料特性です。

property str 材料特性名です。多くの材料特性は、.liml ファイルの<mat>要素の属性名と同じです。ラミネート・レイヤーデータでは、「layer」です。また、カーブ・データを強固にするプラスチックでは、「hardeningcurve」です。

Returns float or List[List[float]]

材料特性の値です。ラミネートおよび温度依存する特性のような平板状のデータではテーブルの列リストです。

mw.material_type(material, group)

material str 材料特性名です。

group str 材料グループ名です。それらは、"geometric", "mechanical", "density", "plastic", "thermal", "fluid", "em", "failure", "piezoelectric"のいずれかです。

Returns str 指定グループの材料タイプ名です。

mw.new_component(name=None)

新しいコンポーネントを作成します。

name str or None 新しいコンポーネント名です。それが既に存在するか無効の特徴を含む場合、修正されます。自動的に名前を生成するには、これをセットしないでください。

Returns str 作成されたコンポーネント名です。これは望む名前とは異なるかもしれません。

mw.new_material(name=None)

新しい材料を作成します。

name	str or None	新しい材料名です。それが既に存在するか無効の特徴を含む場合、修正されます。自動的に名前を生成するには、これをセットしないでください。
------	-------------	--

Returns	str	作成された材料名です。これは望む名前とは異なるかもしれません。
---------	-----	---------------------------------

mw.rename_material(material, name)

材料名を変更します。

material	str	既存の材料名です。
name	str	新しい名前です。別の材料がこの名前を持っているか無効の特徴を含む場合、それは修正されます。

Returns	str	新しい名前です。これは既存の名前とは異なるかもしれません。
---------	-----	-------------------------------

mw.set_element_component(element_id, component)

コンポーネントに要素を指定します。

element_Id	int	
component	str	コンポーネント名です。

mw.set_material(component, material)

コンポーネントに既存の材料を指定します。

component	str	コンポーネント名です。
material	str or None	材料名です。それを削除せず、コンポーネントから材料を取り除くには、これをセットしないでください。

mw.set_material_property(material, property, value)

material	str	材料名です。
property	str	多くの材料特性は、.liml ファイルの<mat>要素の属性名と同じです。ラミネート・レイヤーデータでは、「layer」です。また、カーブ・

データを強固にするプラスチックでは、「hardeningcurve」です。

value	float or list	材料特性値です。ラミネートや時間依存のデータはテーブル値として設定します。
-------	---------------	---------------------------------------

`mw.set_material_type(material, group, type)`

material	str	材料名です。
property	str	材料グループ名です。多くの材料特性は、.liml ファイルの<mat>要素の属性名と同じです。ラミネート・レイヤーデータでは、「layer」です。また、カーブ・データを強固にするプラスチックでは、「hardeningcurve」です。
type	str	指定グループの材料特性タイプ名です。これは、.liml ファイルの<mat>要素の子要素の”type”値と同じです。

`solution.component_elements(component)`

component	int	コンポーネント名です。
Returns	list[int]	コンポーネントに付属する要素番号です。

`solution.components()`

Returns	list[str]	コンポーネント名です。
---------	-----------	-------------

`solution.elements_component(element_id)`

element_Id	int	
Returns	str	要素に付属するコンポーネント名です。

`solution.material (component)`

component	str	コンポーネント名です。
Returns	str or None	指定コンポーネントの材料特性名または未定

`solution.material_property (material, property)`

material	str	材料名です。
property	str	材料特性名です。多くの材料特性は、.liml ファイルの<mat>要素の属性

名と同じです。ラミネート・レイヤーデータでは、「layer」です。また、カーブ・データを強固にするプラスチックでは、「hardeningcurve」です。

Returns	float or List[List[float]]	材料特性値です。ラミネートまたは温度依存データはテーブル・データです。
---------	----------------------------	-------------------------------------

solution.material_type (material, group)

material	str	材料名です。
group	str	材料グループ名です。それらは、"geometric", "mechanical", "density", "plastic", "thermal", "fluid", "em", "failure", "piezoelectric"のいずれかです。
Returns	float	グループに付属する材料タイプを返します。

Loads & Constraints

mw.load_property(load, property)

解析特性や拘束条件の値を得ます。それらは拘束条件、対称条件、節点温度、節点内部熱などです。

load	str	荷重名や拘束名です。
property	str	特性名です。これは、.liml の特性要素名です。
Returns	float or List[List[float]]	特性値です。それは数値やテーブル値ですが、式は含まれません。テーブル値は、1 列または 2 列のデータです。

mw.set_load_property(load, property,value)

load	str	荷重名や拘束名です。
property	str	特性名です。これは、.liml ファイルの特性要素名と同一です。
value	float or List	特性値です。それは数値やテーブル値ですが、式は含まれません。テーブル値は、1 列または 2 列のデータです。

Named selections

mw.add_to_named_selection(name, item)

name	str	
item	int or FaceId	ノード番号、フェイス Id、name 選択タイプの要素番号

mw.delete_named_selection(name)

name str

mw.named_selection(name)

name str

Returns List[int] or List[FaceId] ノード番号、フェイス Id、name 選択タイプの要素番号

mw.named_selection()

Returns List[str] 選択名

mw.new_element_selection(name=None)

name str 選択された名前の矛盾を修正あるいは削除します。

Returns str 選択された名前

mw.new_face_selection(name=None)

name str 選択された名前の矛盾を修正あるいは削除します。

Returns str 選択された名前

mw.new_node_selection(name=None)

name str 選択された名前の矛盾を修正あるいは削除します。

Returns str 選択された名前

mw.new_remove_named_selection(name, item)

name str

Returns str ノード番号、フェイス Id、選択名の要素番号

mw.new_rename_named_selection(name, new_name)

name str 選択された名前

new_name str 新しい選択された名前。選択された名前の矛盾を修正あるいは削除します。

Returns str 新しい選択された名前

solution.named_selection(name)

name str

Returns List[int] or List[FaceId] ノード番号、要素番号、選択名のフェイス Id

solution.named_selection()

Returns List[str] 選択名

Extra

mw.input(prompt)

テキストボックスを備えたポップアップ・ダイアログを表示し、ユーザーがそれを閉じるまで待ちます。

prompt str

Returns str ユーザーが入力したテキスト文字（str タイプ）を返します。

mw.message(message)

ポップアップ・ダイアログのメッセージを表示し、ユーザーがそれを閉じるまで待ちます。

message str

Classes

FaceId(element_id, face_number)

以下の特性を備えたオブジェクトを返します。

element_id int

face_number int 要素の Face ID 1-6 の番号です。その値は、.liml ファイル中の<face>要素で使用したものと同一です。

Vector(x, y, z)

以下の特性を備えたオブジェクトを返します。

x float

y float

z float

例 (Samples)

generate_mesh.py

1 つの Quad4 要素 ($1 \times 1\text{mm}$) を定義します。このスクリプトは Mecway13 の Samples に紹介されています。

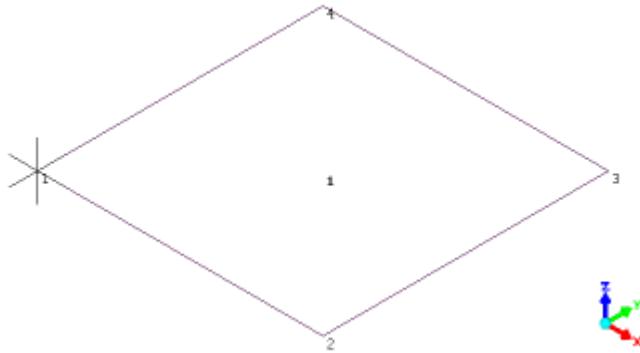
```
# This example script creates an element and its nodes, similar to
#
#           Mesh tools -> Create -> Quick square
#
assert mw.version() == 13

node_1 = mw.new_node(Vector(0, 0, 0))
node_2 = mw.new_node(Vector(1, 0, 0))
node_3 = mw.new_node(Vector(1, 1, 0))
node_4 = mw.new_node(Vector(0, 1, 0))

mw.new_element("quad4", [node_1, node_2, node_3, node_4])
```

操作方法

- Tools > Scripts... を実行し、New ボタンをクリックし、`./generate_mesh.py` を選択します。
- Tools メニューに登録された `generate_mesh.py` を実行します。



備考

- この例では、単純な 1 要素のプレートが作成されます。解析を進めるためには、Material 特性を定義しなければなりません。また、必要に応じて、Loads&Constraints から荷重や境界条件を定義してください。
- 例えれば、Refine×2 を実行し、Material 特性の Geometric として、Shell / membrane を選択し、Thickness=0.01m を設定します。また、Mechanical として、Young's modulus=100GPa、Poisson's=0.3 を設定します。
- さらに、境界条件として、側辺を fixed support (拘束) し、また、荷重として、Loads&Constraints > New pressure から全サーフェイスに対し、Normal 成分に pressure =10 kPa を設定します。

transfer_displacements_from_solution.py

解析結果の節点変位 (displx,disply,displz) をオリジナルの座標値に加算します。このスクリプトは、Mecway13 の Samples に紹介されています。

```
# This example script replicates the functionality of
#
#           Mesh tools -> Transfer displacements from solution
#
# but is limited to solutions without time steps or modes and lacks error
# checking.

assert mw.version() == 13

for node_Id in solution.all_nodes():

    # Read displacement from solution
    displacement_x = solution.node_value("displx", node_Id)
    displacement_y = solution.node_value("disply", node_Id)
    displacement_z = solution.node_value("displz", node_Id)

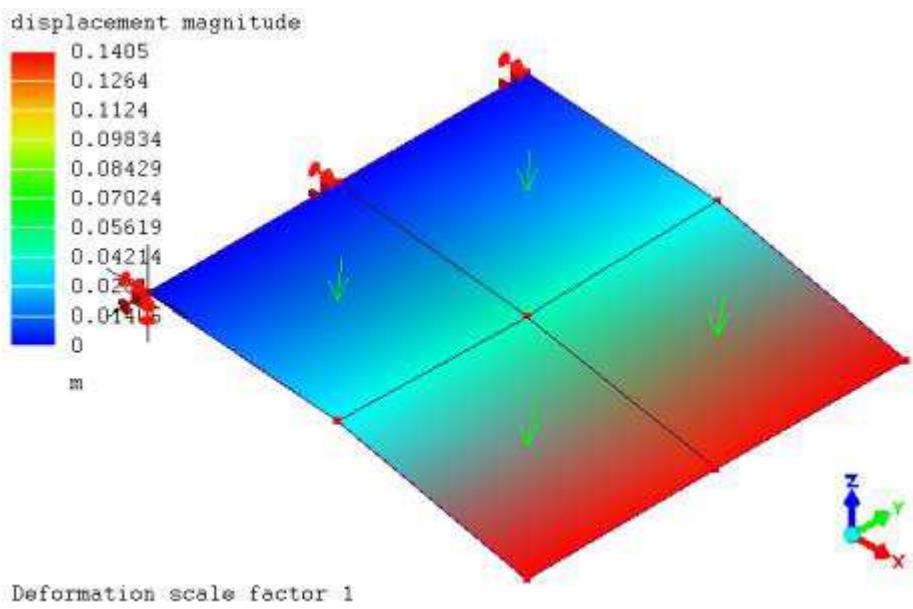
    # Calculate new node position
    new_x = mw.node(node_Id).x + displacement_x
    new_y = mw.node(node_Id).y + displacement_y
    new_z = mw.node(node_Id).z + displacement_z

    # Change node position
    mw.set_node_x(node_Id, new_x)
    mw.set_node_y(node_Id, new_y)
    mw.set_node_z(node_Id, new_z)

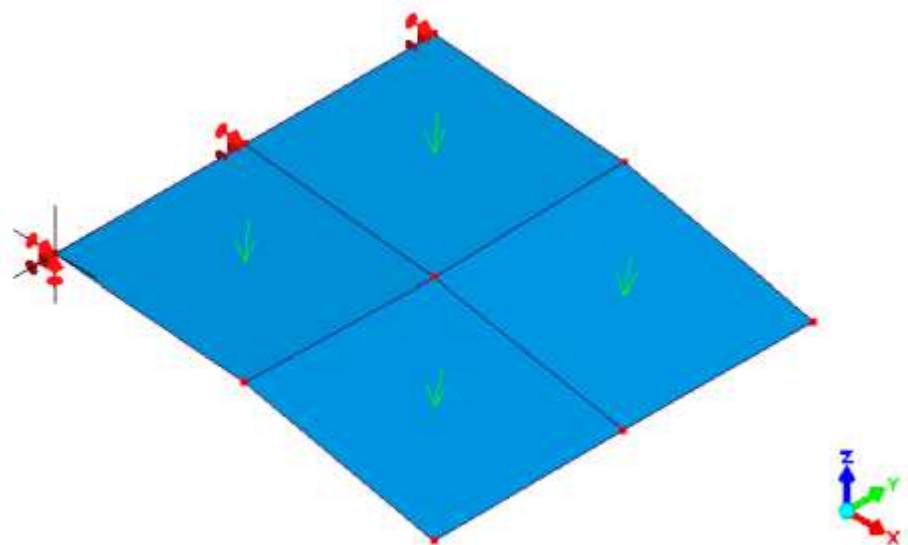
mw.message("Finished")
```

操作方法

- 前例の generate_mesh.py および備考の解析条件の設定し、解析の実行後、Tools > Scripts... から Script ダイアログを開き、New ボタンをクリックし、./ transfer_displacements_from_solution.py を選択します。
- Tools メニューに登録された transfer_displacements_from_solution.py を実行します。



静解析（pressure 荷重）結果の変形シェーブ



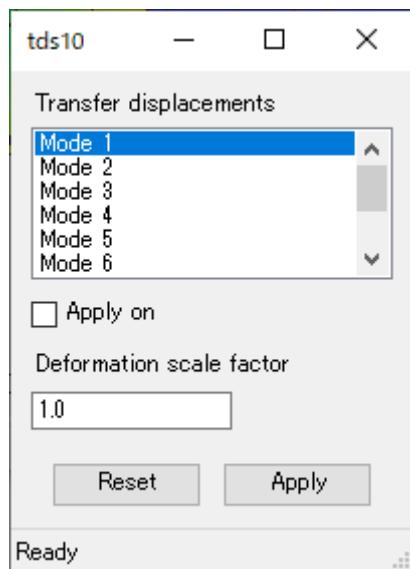
オリジナル・モデルの変形シェーブ加算モデル

参考例

メッシュ・ツール

tds10

解析結果の節点座標変位値 (displx,disply,displz,...) をオリジナルの座標値に加算します。このスクリプトは、Samples > transfer_displacements_from_solution.py の応用プログラムです。



tds10 ダイアログ

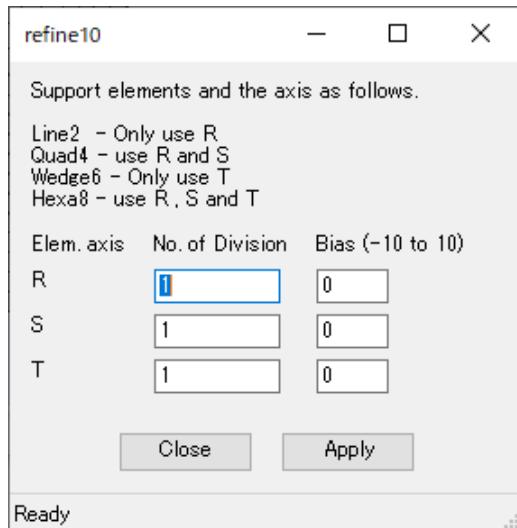
- Transfer displacement リストボックス
以下の解析結果タイプのサポートデータ・アイテムを選択し、Apply ボタンをクリックします。
 - 静的変位シェーブ (solution.displacement)
 - モード変位シェーブ (solution.mode)
 - ダイナミック・シェーブ (solution.time_step)
- Apply on チェックボックス
Transfer displacement リストボックスのアイテムの選択時に更新 (Apply) が実行されます。
- Deformation scale factor テキストボックス
解析結果の変形スケールを指定します。
- Reset ボタンをクリックするとオリジナルの節点座標に戻すことができます。

備考

- スケール係数 (Deformation scale factor) を変更し、更新 (Apply) を実行すると、そのスケール係数に基づく変形座標モデルが表示されます。
- 実行後 (Close) に最後の更新 (Apply) に基づいて、オリジナルの節点座標が更新されます。

refine10.py

Mecway メッシュを指定の分割数、バイアス (Bias) にしたがって、メッシュ分割 (refine) します。



refine10 ダイアログ

- 要素タイプごとの要素軸 (Elem. axis) の分割数 (No. of Division) とバイアス (Bias) にしたがって要素が分割されます。
 - Line2 要素は R 軸の分割数とバイアスの設定が使用されます。
 - Quad4 要素は R 軸と S 軸 の分割数とバイアスの設定が使用されます。
 - Wedge6 要素は T 軸の分割数とバイアスの設定が使用されます。
 - Hexa8 要素は R 軸、S 軸 、T 軸の分割数とバイアスの設定が使用されます。
- バイアス (Bias) 値は範囲-10~10 で設定することが推奨され、次のように解釈されます。
 - 0 : 各要素は等間隔で分割されます。
 - 0 以上 (1,2,...) : 各要素は小間隔から大間隔 (昇順間隔) に分割されます。
 - 0 以下 (-1,-2,...) : 各要素は大間隔から小間隔 (降順間隔) に分割されます。

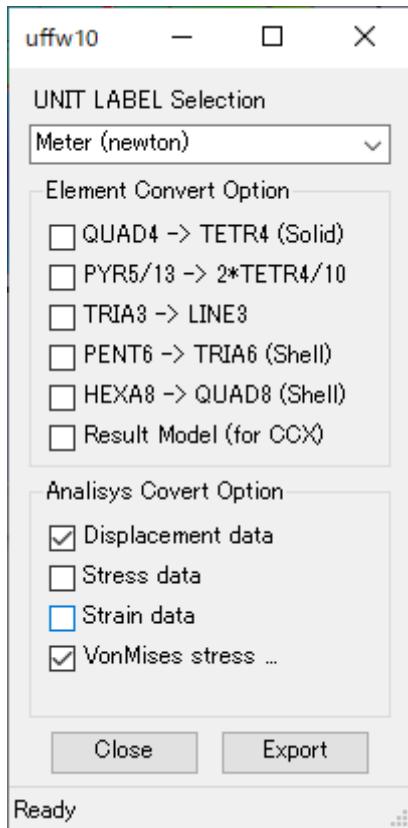
備考

- Mecway モデルの分割に伴って、新たな節点が生成され、重複節点が生じるため、refine 実行後 (Close ボタンの実行後)、節点のマージ処理を実行しなければなりません。これは現状 (Mecway13) の Python インタプリタ (mw 関数) では、節点マージ・コマンドがサポートされていないため、後処理として必要になります。
- Mecway モデルの分割に伴って、オリジナルの節点番号、要素番号が更新されます。
- Mecway モデルの分割に伴って、オリジナルのコンポーネント構成が更新されます。

UFF インターフェイス

uffw10.py

Mecway モデル、解析結果をユニバーサル・ファイル・フォーマット（拡張子：uff、unv）の FEM データとして、エクスポートします。

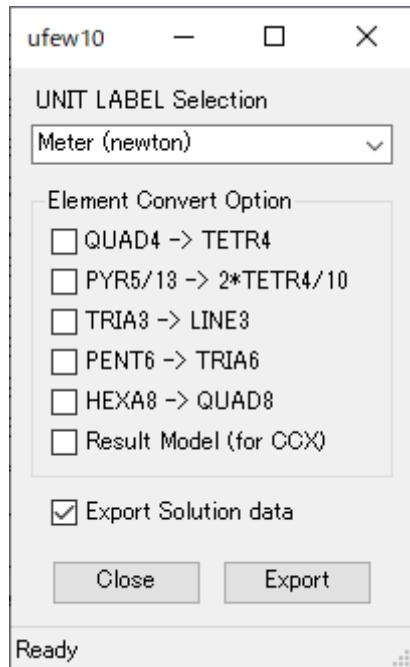


uffw10 ダイアログ

- UNIT LABEL Selection : Mecway モデルの単位（長さ）ラベルを選択します。この設定は単位ラベル情報として、UFF データセット 164 に設定されます。
- Element Convert Option : 要素タイプは節点数によって識別されるため、節点数ごとに 2 者選一で Mecway モデルの要素タイプなどを選択します。
 - 4 節点要素の場合、QUAD4（デフォルト）または TETR4
 - 5/13 節点要素の場合、PYR5/13（デフォルト）または 2*TETR4/10
 - 3 節点要素の場合、TRIA3（デフォルト）または LINE2
 - 6 節点要素の場合、PENT6（デフォルト）または TRIA6
 - 8 節点要素の場合、HEXA8（デフォルト）または QUAD8
 - CCX ソルバーによる結果（SHELL->SOLID 要素コンバートモデル）を使用します。
- Analysis Convert Option : 変換対象データを選択します。
 - Displacement data（デフォルト：オン）
 - Stress data
 - Strain data
 - VonMises stress data

ufew10.py

Mecway モデル、解析結果をユニバーサル・ファイル・フォーマット（拡張子：uff、unv）の TEST データとして、エクスポートします。



ufew10 ダイアログ

- UNIT LABEL Selection : Mecway モデルの単位（長さ）ラベルを選択します。その設定は単位ラベル情報として、UFF データセット 164 に設定されます。
- Element Convert Option : 要素タイプは節点数によって識別されるため、節点数ごとに 2 者択一で Mecway モデルの要素タイプなどを選択します。
 - 4 節点要素の場合、QUAD4（デフォルト）または TETR4
 - 5/13 節点要素の場合、PYR5/13（デフォルト）または 2*TETR4/10
 - 3 節点要素の場合、TRIA3（デフォルト）または LINE3
 - 6 節点要素の場合、PENT6（デフォルト）または TRIA6
 - 8 節点要素の場合、HEXA8（デフォルト）または QUAD8
 - CCX ソルバーによる結果（SHELL->SOLID 要素コンバートモデル）を使用します。
- Export Solution data : 解析結果データが存在し、その解析結果データをエクスポートする場合に選択します。（デフォルト：オン）